



















RO-Crateを用いた 材料研究データの データリポジトリへの登録

2021年12月18日 第26回情報知識学フォーラム

田辺浩介 (b) https://orcid.org/0000-0002-9986-7223

松田朝彦 (b) https://orcid.org/0000-0001-5989-027X

物質・材料研究機構 統合型材料開発・情報基盤部門 材料データプラットフォームセンター



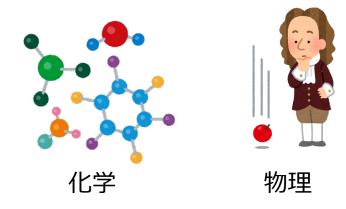


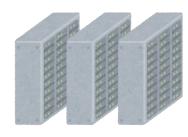


研究の背景

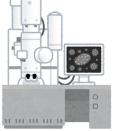


- 材料研究は複数の分野にまたがっており、 データの形式や内容が多種多様
- データに付与するメタデータスキーマの設計や記述が困難
- 複数のデータファイルを、データ生成時の ディレクトリ構造を保ったまま保存・共有 する必要がある
- ・データ駆動型研究を実現するために、登録・公開処理の自動化が必要





大規模データ





実験

計算



RO-Crate



- ・これらの課題を解決する方法として、RO-Crate に着目
- 研究データパッケージの規格のひとつ
- Research Object communityによる開発
- 2019年11月にバージョン1.0がリリース
 - 。最新バージョンは2021年2月リリースの1.1



https://www.researchobject.org/ro-crate/





研究データパッケージとは



なんらかの文脈を共有する研究データを、ひとかたまり(パッケージ)として扱う手法



- 類似の手法は、分野や用途によって古くから存在する
 - 。科学計算分野のHDF5や、データ交換用のBagItなど



。Officeファイル (Office Open XML Document) や EPUB も パッケージの一種



• RO-Crateは軽量・汎用の研究データパッケージングフォーマットとして 開発

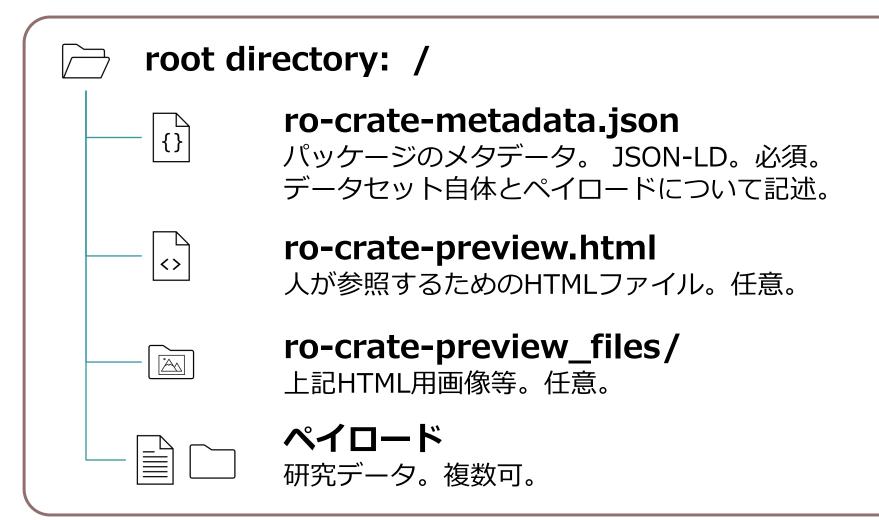




パッケージの中身



(ZIPファイルでもディレクトリでも可)

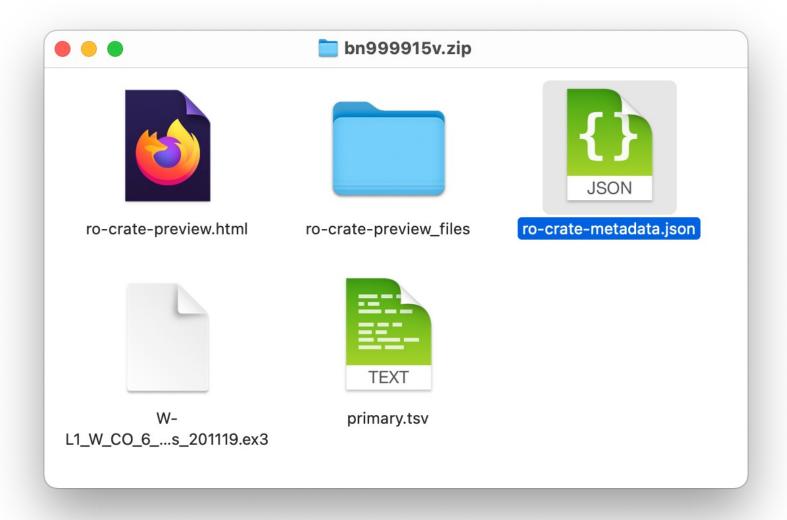






RO-Crateパッケージのイメージ









データ登録の実施



- ・研究プロジェクトのひとつから約1500件の材料データを用意
 - 。石井ほか、第24回XAFS討論会(日本XAFS研究会)
- RO-Crateのデータ登録用スクリプトを作成し、上記のデータを Materials Data Repository の試験環境に登録



- ro-crate-metadata.jsonに、データセット自体のメタデータと 材料メタデータを記述
 - 。材料メタデータの記述語彙として、BioschemasとMaterials Schemasを使用









ro-crate-metadata.jsonの各パートの説明(抜粋)



```
"@context": ["https://w3id.org/ro/crate/1.1/context", {"bio": "http://schema.org"}],
"@graph": [
                                                            パッケージの情報
   "@type": "CreativeWork",
   "@id": "ro-crate-metadata.json",
   "conformsTo": {"@id": "https://w3id.org/ro/crate/1.1"},
   "about": {"@id": "./"}
   "@id": "./",
                                                          データセット
   "@type": "Dataset",
   "url": "https://mdr.nims.go.jp/concern/datasets/bn99991
                                                            全体の情報
   "identifier": "https://doi.org/10.48505/nims.2563",
   "name": "XAFS spectrum of Tungsten carbonyl",
   "datePublished": "2021",
   "description": "This dataset consists of X-ray absorption fine structure (XAFS) spectra at W
   L21-edge of Tungsten carbonyl measured at SPring-8 BL14B2".
   "hasPart": [
     {"@id": "W-L1_W(C0)6_Si311_50ms_201119.ex3"},
     {"@id": "primary.tsv"}
   "material": [ {"@id": "#material-0"} ]
```

材料科学固有の情報

```
"@id": "#material-0",
                                                        試料・対象物質
"@type": "Material",
"name": "Tungsten carbonyl",
"description": "Standard Sample",
"bio:ChemicalSubstance": {
 "bio:chemicalComposition": "W(CO)6",
 "identifier": "https://matvoc.nims.go.jp/wiki/Item:Q1765"
"@id": "W-L1_W(C0)6_Si311_50ms_201119.ex3",
                                                            実験データ
"@type": "File",
"encodingFormat": "text/plain",
"url": "https://mdr.nims.go.jp/downloads/73666690b",
"mainEntityOfPage": {"@id": "https://mdr.nims.go.jp/concern/parent/bn999915v/file_sets/73666690b"}
"@id": "primary.tsv",
                                                        独自メタデータ
"@type": "File",
"encodingFormat": "text/tab-separated-values",
"url": "https://mdr.nims.go.jp/downloads/k930c032p",
"mainEntityOfPage": {"@id": "https://mdr.nims.go.jp/concern/parent/bn999915v/file sets/k930c032p"
```



RO-Crateのメリット



- 研究データ作成時の文脈(ディレクトリ構造など)をそのまま保存可能
- RDFによる柔軟なメタデータ記述
- HTMLプレビューファイルで人間向けの可読性も確保
- ・メタデータのファイル名が"ro-crate-metadata.json"固定なので、 アプリケーションでのメタデータ読み取りの実装が容易
- 研究コミュニティによるオープンな規格、かつ静的ファイルなのでアーカイブ化・長期保存にも有利





今後の展開



- 他の研究プロジェクトのデータセットの登録
- 材料メタデータの記述の拡充
- 研究データ公開ワークフローでの適用

